文法

修飾語のはたらき 2

修飾語のはたらきと使い方を理解する

月　日

名　前

●修飾語がくわしくする言葉

右の文には、修飾語が三つあります。

修飾語1 大きな　主語 鳥が、　修飾語2 青い　修飾語3 空を　述語 とぶ。

修飾語1の「大きな」は、主語の「鳥が」に係って、「鳥が」をくわしくしています。

修飾語2の「青い」は、修飾語3の「空を」に係って、「空を」をくわしくしています。

修飾語3の「空を」は、述語の「とぶ」に係って、「とぶ」をくわしくしています。

このように、修飾語は主語や述語だけでなく、別の修飾語に係ることもあります。

修飾語アが、言葉イをくわしくすることを「アがイに係る」というよ！

1 次の文の――線の修飾語がくわしくしている言葉に、～～～線を引きましょう。

① すずしい　風が、　ふきました。

② ペンギンは、　魚を　食べる。

③ うちの　犬は、　広い　公園を　さんぽします。

④ ぼくは、　きのう　小学校の　校庭で　遊んだ。

2 次の文の中から、修飾語をすべて見つけて、線でかこみましょう。

① お父さんは、　いそいで　駅に　行きました。

② 遠くから　かみなりの　音が　聞こえた。

③ 音楽の　先生が、　ピアノを　しずかに　ひきます。

④ 小林商店は、　学校の　近くの　小さな　お店だ。

8
もんせいかい 問正解

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
© ちびむすドリル